

脳画像を用いた臨床研究への協力をお願い

東京科学大学病院の脳神経内科、精神科、脳外科、麻酔科では、日常診療の一環として脳の画像を撮像された患者さんの画像を含む臨床情報を後ろ向きに解析する臨床研究を行っております。患者さんの画像データを、下記研究に使用させていただく旨のご案内です。

研究課題名：脳画像データベース、歩行解析を用いた神経疾患の研究（M2017-223）

分野長：脳神経病態学分野・教授・三澤 園子

研究代表者：東京科学大学 脳神経病態学分野・講師・服部高明

共同研究機関/責任者：東京科学大学・総合理工学院・教授・三宅美博

関東中央病院・脳神経内科・統括部長・織茂智之

鎌ヶ谷総合病院・難病センター長・湯浅龍彦

筑波大学・制御システム研究室・平田祥人

対象となる患者さん：

脳神経内科、精神科、脳外科、麻酔科を1990年4月1日から2029年3月31日までに受診され、神経疾患のために脳の画像を撮像された患者さん

研究目的：神経疾患（アルツハイマー病、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、脳腫瘍、統合失調症、慢性疼痛など）の病気のメカニズムの解明を目的としています。

研究概要：臨床の一環として撮像された脳画像（MRIやラジオアイソトープ画像など）と臨床情報（病歴、血液や髄液の検査結果、身体所見、歩行解析データ、神経心理検査など）を後ろ向きに解析をします。別に取得された健常者の方の画像と比較することもあります。これらの結果より、疾患ごとの画像の違い、病気の重さや薬への反応性に関わる領域などを明らかにします。データの解析は、本研究計画に参加し、所属施設の倫理委員会から許可を得た研究者のみが行います。使用するデータは、年齢・性別といった個人が特定されない個人情報を含みますが、匿名化された上で提供され、東京科学大学の電子カルテシステムの共有フォルダー内にパスワードをかけて、脳神経病態学分野の研究者（管理責任者横田隆徳）が責任を持って管理します。本研究は、本施設から研究室への運営費、本施設への寄付金を用いて行われます。本研究の本研究に関わって、特定の企業との利益相反はありません。データの解析のために、匿名化した上で臨床情報や脳画像のデータを東京工業大学や筑波大学に送ることがあります。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

研究実施期間

研究実施許可日から 2029 年 3 月 31 日

研究への参加辞退をご希望の場合

臨床診療の一環として撮像された画像や診療情報を用いるために、研究にともなって新たに患者さんに身体的、経済的な負担が発生することはありません。データを使用する際には、患者さん個人を

特定できないようにして扱い、学会や論文発表を行う際にも個人情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、下記の研究者へご連絡下さい。本研究への参加は患者さんの自由意思であり、参加の辞退を希望されても患者さんが不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の研究実施期間に下記の研究者へご連絡下さい。なお、研究実施期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。いつでもご相談下さい。

研究者連絡先：

東京科学大学病院（脳神経内科・講師・服部高明）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-5234（ダイヤルイン）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学研究推進部研究基盤推進課生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）